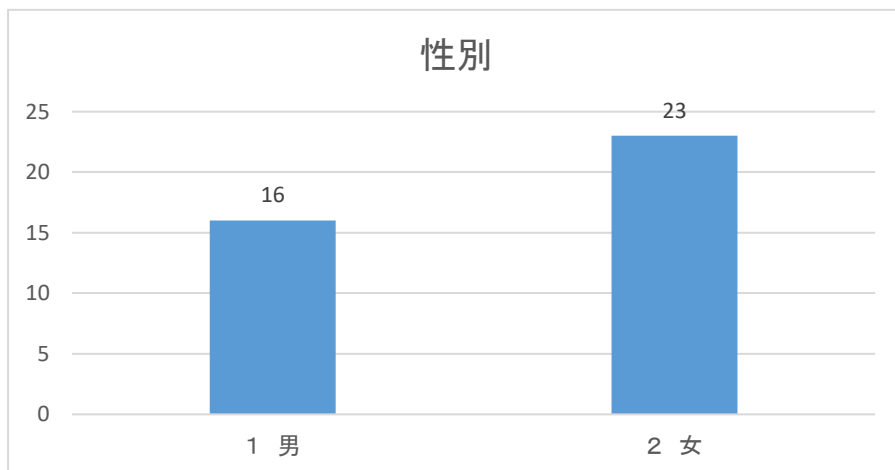
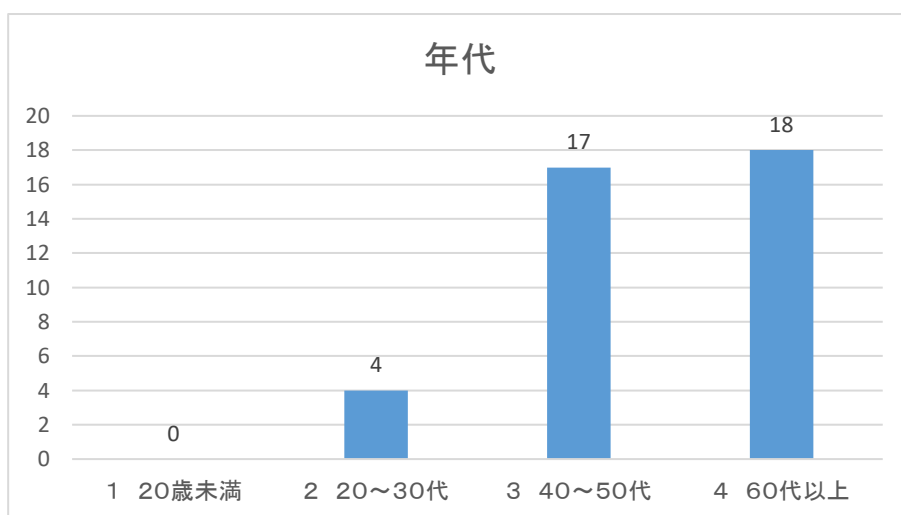


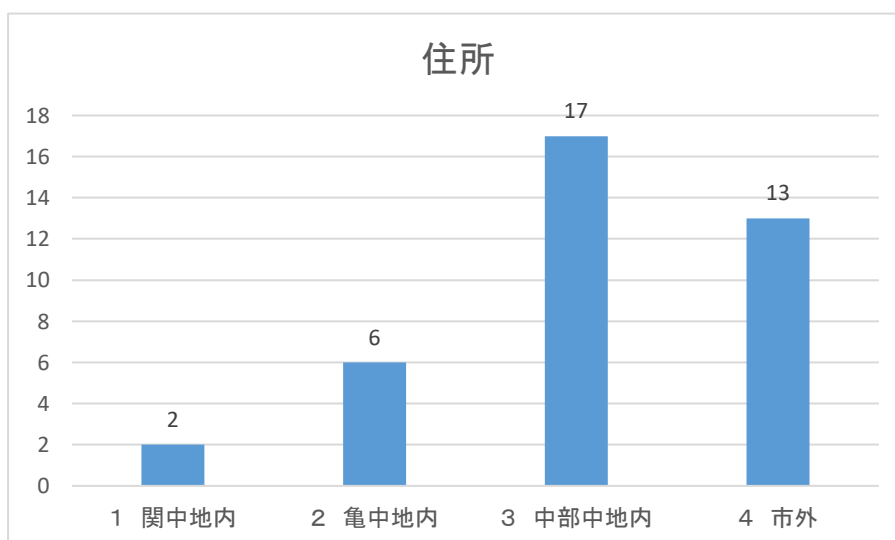
問1 性別を教えてください。



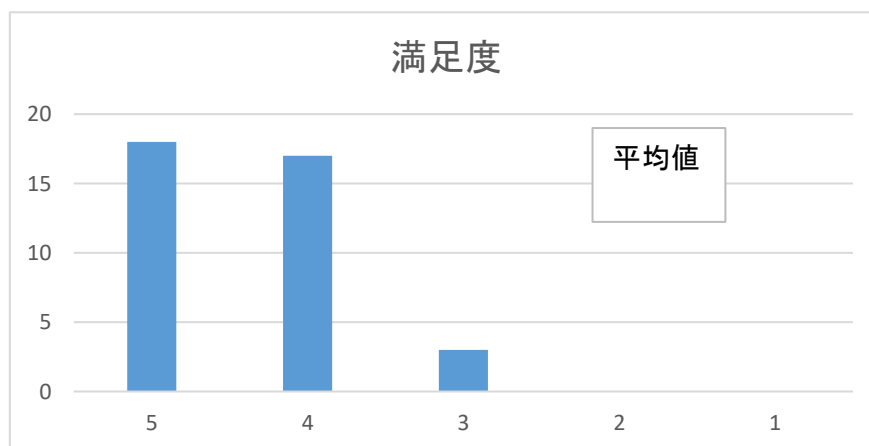
問2 年齢を教えてください。



問3 住所を教えてください。

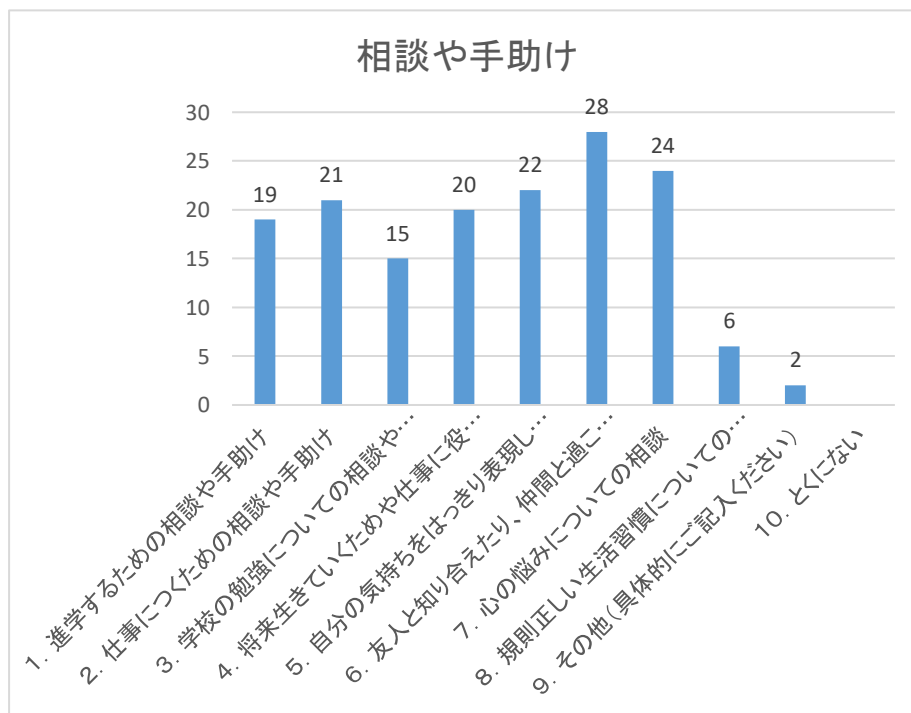


問4 今日の対話集会の満足度を聞かせて下さい。(満足度に○)



問6 不登校やひきこもりの人たちのために、次のような相談や手助けなどがあればいいのと思ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 進学するための相談や手助け
2. 仕事につくための相談や手助け
3. 学校の勉強についての相談や手助け
4. 将来生きていくためや仕事に役立つ技術や技能の習得についての相談や手助け
5. 自分の気持ちをはっきり表現したり、人とうまくつきあったりする方法についての指導
6. 友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所
7. 心の悩みについての相談
8. 規則正しい生活習慣についての指導
9. その他(具体的にご記入ください)
10. とくにない



問6 9. その他(具体的にご記入ください)

話し相手、何でも言える相談できる友達、伴走者
仕事をする場

問5 今日の対話集会の感想を聞かせてください。

毎回、いろいろな立場の方と話ができるのがありがたいです。当事者の方の話は参考になります。ひきこもりだけでなく不登校体験者にもスポットを当てて、パネルディスカッションをしてもらいたいです。回を重ねるうちに、より深く考えられるようになってきました。今後もこのような機会を大切にしたいと思います。

当事者から直接話を聞くことができ、勉強になりました。

話をいっぱい聞いてよかった。

当事者の方の声を直接聞くことができよかったです。

充実した時間を過ごせました。様々な考え、想いを聞いて、自分なりの想いを整理し、新たな視点を持つことができました。

「学校は高速道路」わかりやすい表現でした。時代も社会も同じだと思いました。様々な悪路も時々現れますが、すべてと対応は誰もが無理なのです。

当事者の方や、員弁のルリアンの方と話ができよかった。情報発信を積極的にしたいと思った。

途中参加して、県の取り組みを紹介させていただき、ありがとうございました。

初めての参加でしたが、充実した時間でした。不登校、ひきこもりを特別な扱いをしないことが大切です。人として同じ扱いをすることが必要です。

今回も当事者の話を聞くことができ大変よかったです。

当事者の方の話が聞いてよかったです。

頭でわかっていたことであるが、ひきこもり 不登校の原因は多様であり、働いてもひきこもりが終わったわけではない。この言葉は、深いと思った。

当事者の方々や保護者の方々との対話やパネルディスカッションを通して、いろいろな方々のそれぞれの思いを聞かせていただいととてもよかったと思います。胸に突き刺さる言葉、納得できる言葉などを意識し続けたいと思います。

本日の集会は、支援者さん、保護者さんと話すことが多かったですが、どの方も子どもの理解をしたい、支えたい、その子にとっての幸せとは何かを考えていくことが大切。都の間がw肩をお持ちで、こういう方たちが増えたらいいなと思える時間でした。今回も参加できてとてもよかったです。開催していただいております。

ひきこもりは、社会に参加できる(就職)ことが最終ではなく、悩みや生きずらさを抱えながら働いたり、自分が選択した進路に沿った生き方をしていることを改めて考えさせられました。つらい気持ちをサラッと受け止めてくれる居場所(決して押しやりひっぱったりしない)がいくつか周りに存在していることが必要だと思います。

当事者の話を聞いたのがよかったと思います。ひきこもっている時周囲や家族がしてくれてよかったこと、安心したこと、助かったことなども具体的に聞けたらもっと嬉しかったです。

いろいろな立場の人のお話を聞いてよかったです。同じような気持ちの方と出会うことができ、何か始められそうです。ただ会場で隣のグループの方々の声などで、がやがやして発言されている方の話が聴き取りずらかったのが残念です。

当事者の話がよかったです、もっと聞きたいです。

思っていることを話しできてよかったです。

当事者、家族、支援者、学校、福祉、いろんな立場の方から思いを聞いていつも勉強になります。

都と名の人のひきこもりについて生の声を聞いて、知らない現状がわかった。

誰もが社会から孤立することなくできる社会であってほしい。

当事者、家族、支援の立場のいろいろな思いを聞いてとてもよかった。

毎回当事者の声が聴けるので、勉強になります。様々な課題も見つかりますね。

いろいろな人の話が聞いてよかった。気持ちもわかった。どのように声掛けしていったらいいのか、寄り添って行ったらいいのか今後も考えていきたい。

どのような取り組みをされているのか。もっとひろく広まっていったらいいなと思う。

いろんな情報が入って来るから、グループ交流の時間が長い方がいいと感じました。共感しやすい。

保護者会の必要性を聞かせて頂けてよかったです。当事者のこともよく勉強になりました。

当事者さんのお話を聞いてよかった。

年齢、性別様々な当事者の方々のお話が聴けて大変ためになりました。

当事者としていろいろな立場の方といけんをかわすことができよかった。

問7 行政、教育委員会(学校)、亀っ子サポートなどや身近な人たちに望むことなどを自由にお書きください。

学校全体で、この活動のことをもっと知り、理解していけるといいと思います。

レールに乗せることが教育ではないことを実感しました。

自分を表現できない子、埋もれてしまっている子・大人にも目を向けてほしい。

不登校対策のための専任教員の常勤化、加配。不登校児童生徒の校内教室の設置。教職員の研修。インターンシップ(対応の経験)

行政、教委、学校が積極的に、理解、居場所づくりを進める。誰もが自分らしい生き方を選べるよう、亀山がもっと住みやすい町(すべての人にとって)みんなで連携して進めましょう。

これからもこの会に参加し続けようと思います。

できることはさせていただきたいです。

長く続けてほしい。行政も金銭的な援助を継続してほしい。

中学校卒業後の就労支援、就労体験の場を増やしてほしいですし、そういう選択があるということの周知をしてほしいと思います。

前半のパネルディスカッションは、進行がよくて当事者の方のお話を効率よく聞くことができてよかったです。

「ひきこもりの人」とまとめて接するのではなく、その前に個人があるということに気づいてほしいと思います。

大人の引きこもりの方々の居場所がまだないことを知りました。様々な年代の人たちが心地よい居場所ができるといいと思いました。(子どもはいずれ大人になるし、大人の引きこもりの数の方が多いと思ったので)

シルバー人材センターのような、いつでもだれでもできるときにできるだけ仕事ができる場所

様々な居場所づくり。大人のひきこもりの支援

亀山市街の居場所に通っている方は、お金がかかっている。義務教育は無償だと思うけど、不公平だと思う。

学校に行きにくい子ども達が社会に関われるために、実際に会社、店を経営知っているところに、短時間、不規則でも受け入れてもらえる体制を作してほしい。

当事者です。どんどんこういった集いにお声をかけて下さい。成田尚司(オレンジの会OB)

学校は余裕がないと働いていて常に感じます。人員を増やしていただければ。